

令和2年度までの福島イノベーション・コースト構想の取組

あらゆるチャレンジが可能な地域 様々な分野においてイノベーションにつながる新たなチャレンジが実施できる地域となることを目指す

地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込み



テトラ・アビエーション(株)の飛行試験の様子

○福島ロボットテストフィールド入居企業

令和3年2月現在、企業や大学等、計20団体が入居。拠点を活用して様々な研究開発を実施。

[主な入居団体及び研究開発のテーマ]

- ・(株)タジマモーターコーポレーション
 - 小型電気自動車、自動走行
- ・東北大学 未来科学技術共同研究センター
 - 小型電気自動車、自動走行
- ・(株)デンソー
 - 橋梁点検ドローン
- ・(株)Sky Drive
 - 空飛ぶクルマ
- ・(株)人機一体
 - 建築機械ロボット
- ・会津大学
 - 災害対応ロボット



空飛ぶクルマにおける航続距離延長に向けた研究開発と実証

○イノベーション創出プラットフォーム事業

「Fukushima Tech Create」…3つのプログラムにより、イノベ地域に新たな事業を創出する企業・個人を支援。

- ・フォーラム開催 (7/30)
- ・スタートアップピッチ開催 (1/26)

支援実績

- ・ビジネスアイデアプログラム 29者
- ・地域未来実現プログラム 8者
- ・アクセラレーションプログラム 10者



○福島浜通りロボット実証区域

県内の橋梁やダム、河川、山野などを実証試験や操縦訓練の場として提供。

令和3年2月末現在、ロボット実証試験502件を誘致。

○実用化開発の促進

地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進。

延べ327件の事業を採択 (平成28年度から令和2年度まで)

東日本大震災・原子力災害伝承館の開館 (9月20日)

複合災害の記録と教訓を収集・保存するとともに、調査・研究し、展示・研修を行う情報発信拠点として、双葉町に開館 (3月14日時点来館者数 4万人)。

<外観>



法人・学生向け「福島イノベーション・コースト構想」の拠点施設と地域の視察ツアー

- ・第1回 11月26・27日
 - テーマ：先端農業・6次化産業
 - 参加者：8名参加 (旅行代理店など)
- ・第2回 12月9・10日
 - テーマ：ロボット・新工ネ
 - 参加者：13名参加 (旅行代理店など)
- ・第3回 2月17日 (オンラインツアー)
 - テーマ：震災と復興から学ぶ企業研修
 - 参加者：37名参加 (旅行代理店など)



地域の企業が主役

最先端分野だけでなく、地域に根ざした産業を含め地元企業が幅広く構想に参画できるよう、地元企業と進出企業の連携を広域的に進める

地元企業の参画拡大、県内他地域との連携強化

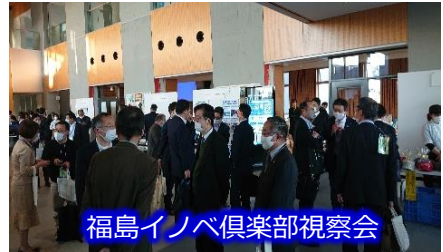


廃炉関連産業マッチング会

○廃炉関連産業マッチングサポート事務局運営

元請企業と地元企業間のマッチングを支援。

- ・廃炉関連産業マッチングサポート事務局設置 (7/1)
- ・第1回 廃炉関連産業マッチング会開催 (10/30) (元請 2社、下請希望 21社) 参加
- ・第2回 廃炉関連産業マッチング会開催 (3/5) (元請 2社、下請希望 7社) 参加
- ・廃炉ステイアツ開催 (11/12, 11/19) 第1回13社 (18名)、第2回13社 (18名) 参加



福島イノベ倶楽部視察会

○福島イノベ倶楽部の運営

幅広い分野のイノベ関係事業者等による異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを生み出す。

一般会員77者、賛助会員18者の計95者の浜・中・会津の企業や金融機関、団体が会員として参画。

- ・総会の開催 (7/31 富岡町学びの森)
- ・視察会の開催 (10/30 福島RTF)
- ・研修会の開催 (2/5 オンライン開催)



東北アクセス

○地元企業の参画促進

JR双葉駅と東日本大震災・原子力災害伝承館、双葉町産業交流センターを結ぶ区間バスの運行開始 (10/28)。



○ロボテスコラボ商品の販売

○ふくしまみらいビジネス交流会の開催

新規立地や研究開発等を計画・実施している企業が講演、ブース設置をし、来場した地元企業との商談等を実施。

- ・現地商談会 (11/19) 来場 33企業・団体/51名 商談数 20件
- ・オンライン商談会 (11/26) 来場 6企業・団体/9名 商談数 11件

構想を支える人材育成

将来にわたって自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材の育成と産業集積を支える人材を育成する

小中学校、高校におけるキャリア教育の推進



ふるさと創造学サミット

○小中学校

令和2年度は、県内の小中学校5校を対象に、将来のロボット産業を担う人材育成等を目的とし、全20回のロボット・プログラミング体験会を開催。



人材育成成果報告会

○高等学校

延べ約200事業所 (研究機関、企業等) の協力を得て、浜通り地域等の高校11校で実施し、延べ5,337名の生徒が参加。

テクノアカデミーにおける産業人材育成



令和2年度から「ロボット・環境エネルギーシステム学科」、「知能情報デザイン学科」を開設。

大学等による教育研究活動 (復興知事業)

福島大学×南相馬市、飯館村、大熊町、川内村 浜通り地域等で地元市町村と連携した教育研究活動を支援。令和2年度は、17大学等、23プロジェクトを展開。

12月に開催した「双葉郡ふるさと創造学サミット」を初めてオンラインで開催。双葉郡8町村の学校が地域を題材に取り組む探究的な学習活動の成果を発表。700名以上が参加。

また、中通りや会津地域の農業、工業、商業高校への展開を推進。

令和3年2月に開催した「福島イノベ構想に貢献する人材育成成果報告会」では、県内の高校37校、276名が参加。